

翼

つばさ



夕暮れの貴興丸

No. 15

「翼」地域コミュニケーション誌

UBE

2019年12月

(発行予定：6月と12月の年2回)

- グループ会社紹介
- 環境安全部だより
- UBE人図鑑
- 国体出場
- 社会貢献
- トピックス



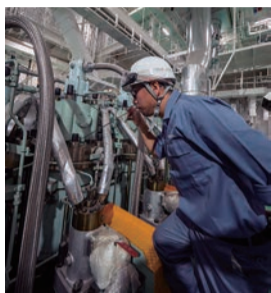
発行：
〒755-8633 山口県宇部市大字小串1978-96
宇部興産株式会社 宇部渉外部
(電話 0836-31-2111)

「翼」は地域にお住まいのみなさまにUBEグループをより身近に感じていただくために発行しています。

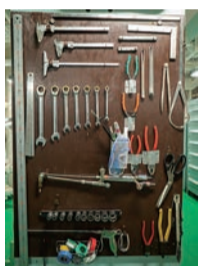
グループ会社紹介 宇部興産海運株式会社

今回はUBEグループの宇部興産海運株式会社について紹介します。「貴興丸」というセメント運搬船を取材してきました。

船を動かす 心臓部



聴診棒を使ってエンジンの音を聞き調子を確認します。



整理整頓された工具。

船の後方はエンジンルームや機関制御室といった船を動かすのに欠かせない部屋があります。ここでは機械整備の資格を持つ機関士が船の動力を

あるメインエンジンや船内の照明や荷役作業に使う電力をつくる発電機などの運転・整備を行っています。



機関制御室では機関士が船橋にいる機関長と連絡を取りながら運転操作を行います。

船を導く 司令部



船長の指示を受けて部員が舵をきります。



コンパスで針路を確認する船長



メインエンジンのハンドルを操作する機関長

船長の指示を受けて部員が舵をきります。船橋の傍らにはECC(エンジンコントロール)というエンジンの操作盤があり、機関長が船長の指示を受け、メインエンジンの始動・停止作業を行います。船の後方にある機関制御室に待機する機関士たちに指示を出しながら船を出航させます。



貴興丸とは

2019年1月に就航した、宇部興産海運が所有する最も新しいセメント運搬船です。積載量は16,000tで全長は約158mあります。貴興丸は、船橋を中央に配置した“三島型(みしまがた)”と呼ばれる船型に特徴があります。機関室と居住区を離して騒音を抑え、居住性に配慮した船員に優しい船舶です。

宇部興産海運の船舶は宇部港などで宇部興産の製造したセメントや石灰石を積み、日本全国の港へ運びます。航海中はイルカの大群やクジラに出会うこともあるそうです！



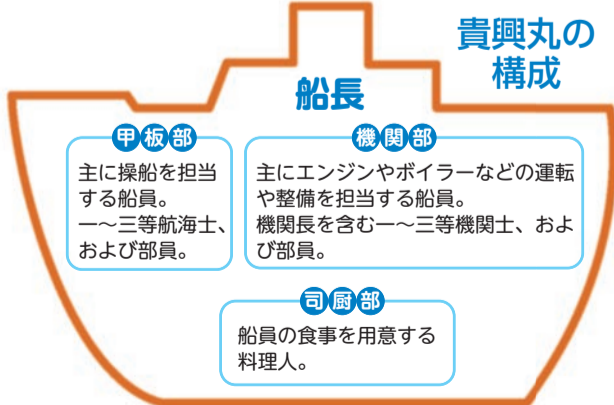
貴興丸の船員たち

まさにOne team!



陸上出荷担当者たち

宇部興産海運の仕事は船の上だけではなくありません。セメントを船に積むには、陸上側から出荷作業を行う彼らの力が必要です。船上と陸上の社員が協力しあってセメントを目的地まで運んでいます。



各部門のプロフェッショナルたちが船長の指揮の下、それぞれの任務を遂行することで大きな船を動かしています。

船員のお腹を満たす台所



船上の手巻き寿司パーティ。みんな揃っての食事はチームワークを高める大切な時間です。

船には専任の料理人が乗っています。司厨長と呼ばれ、船員のために毎日の食事を作っています。

船長の和田さんにインタビュー



船長 和田健志さん

Q. この仕事をやりがいは？
船の上では常に自然を相手に闘っています。その中で無事に任務を終えられた時に感じる達成感がやりがいです。

Q. 船長として心がけていることは？
コミュニケーションをよく取り、船内調和を取ることで。わからないことがあればすぐに相談できる雰囲気づくりを目指しています。その中でも馴れ合いになりすぎず、締める所は締めて規律を守っていくことも大切だと思っています。

Q. この職業を選んだきっかけは？
父の趣味が海釣りで、小さい頃釣り船に乗せてもらったことがきっかけです。

Q. この職業を選んだきっかけは？
父の趣味が海釣りで、小さい頃釣り船に乗せてもらったことがきっかけです。